

2023年度 学校関係者評価報告書

宗教法人カトリック福岡司教区 若松天使園

1. 本園の教育目標

1. キリスト教の精神に基づいた愛の教育
2. モンテッソーリ教育に於ける新しい教育
3. 家庭と園が一致した和の教育

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

特に、安全管理と発達支援の共通理解についてを、大きな課題とした。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	教職員間の協力と一致	・支援にかかわった職員や専門家の意見を聞き、記録による気づきなどを話し合い共通理解をし、次の課題につなげていくことが出来た。 ・子どもたちの多様な姿に対応するために教職員間での、情報交換を密に行い、子どもたちに関わっていけるよう心掛けた。
2	教職員の働き方	・子どもの様子を共有し、皆で把握をして、子どもたちの園生活の充実のために一人ひとりが尽力した。
3	安全管理	・園生活における安全対策を徹底し、各職員の気付き共有し、対策を講じて、安全に配慮し、協力体制を整える

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

一人ひとりの子どもに寄り添った対応ができるよう、担任だけでなく他職員でも共有し保育を行った。報告、連絡、相談の重要性を確認し、今後も継続して行っていくよう体制をより強化していきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教職員間の協力と一致	学年やクラスに関係なく、それぞれの指導計画と子どもの様子を把握し、協力体制を更に強化する
2	教職員の働き方	仕事の内容、分担をうまく調整し、一人に負担がかからないように協力しながら動く
3	発達支援	講習会参加や専門家のアドバイスを受けながら、子どもと保護者に寄り添った支援ができるよう計画立て、共通理解をした上で家庭と園全体で関わっていく。

6. 学校関係者の評価

一人ひとり子どもを大切にしたい教育が、先生方の熱い思いが伝わっています。子ども達に寄り添った教育が、先生方の熱い思いが伝わっています。子ども達に寄り添った教育が、先生方の熱い思いが伝わっています。

7. 財務 (伝説として受け継がれている) 家庭と園の和の教育が、これからも長く続くことを期待しています。公認会計士により適正であると認められている。

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員

委員会実施日 2024年 3月 21日